

スキーリゾートの 発展プロセス

日本とオーストリアの比較研究

筑波大学 生命環境系教授 吳羽正昭 著



二宮書店のHPから
オンライン書店経由で
購入できます。

定価 本体: **3,200円**(税別)
A5判 / 本文224頁 + □絵8頁
図63,表33,写真65,カラー写真14
ISBN978-4-8176-0423-1 C3025

19世紀末にヨーロッパでアルペンスキー技術が確立すると、世界の積雪地域でスキーリゾートが誕生するようになり、今日まで発展を続けている。本書は、スキーリゾートの発展プロセスにみられる地域的・時間的傾向、発展にかかわる地域的條件について地理学の立場から解明する。

日本では、1980年代に爆発的に拡大したスキーブームも、1993年以降は衰退・停滞が続いている。スキー場の閉鎖・休業も生じているものの、インバウンド・ツーリズムの受け入れといった新しい傾向もみられる。一方、ヨーロッパアルプス、特にオーストリアでは、大規模で標高の高いスキーリゾートで継続的な発展傾向がみられ、長期滞在に基づくスキー文化がその発展に大きく寄与してきた。本書はこれらのプロセスを両国の具体的事例とともに解説する。

● スキーリゾートの理解や今後の再生に必読の書 ●

内容構成

I 序論 スキーリゾート研究の理論的枠組み

- 1 スキーリゾートをめぐる研究視角
スキーがもつ地域的な意味 研究目的 研究方法
スキー場をめぐる諸事象の定義
- 2 スキーの歴史とスキーリゾートの成立
スキー技術の伝播とアルペン技術の確立
スキー場・スキーリゾートの成立 世界のスキー場とスキーリゾート
- 3 スキー観光に関する研究動向
日本におけるスキー観光に関する展望研究
日本のスキー場とスキーリゾートの立地・地域的展開に関する研究
日本の個別スキーリゾートに関する研究
日本におけるスキー観光行動およびスキー人口に関する研究
日本におけるスキーと自然環境に関する研究
アルプス地域における観光とスキーリゾートに関する研究

II 日本におけるスキーリゾートの発展プロセス

- 4 日本におけるスキーリゾートの展開
日本におけるスキーの移入
第二次世界大戦前のスキー技術の伝播とスキー観光
スキー観光復興期 スキー観光展開期
スキー観光発展期 スキー観光停滞期
- 5 日本におけるスキー場の閉鎖・休業
分析方法 閉鎖・休業スキー場の地域的傾向
スキー場の閉鎖・休業に関する地域的要因
今後のスキー場をめぐる展望
- 6 日本のスキー観光停滞期におけるスキーリゾートの対応
長野県菅平高原 群馬県片品村 長野県乗鞍高原
長野県黒姫高原 北海道ニセコ地域

III オーストリアにおけるスキーリゾートの発展プロセス

- 7 アルプス地域におけるリゾート発展プロセス
アルプス地域の概観 アルプス地域における観光とリゾートの発展プロセス
リゾート景観の地域的差異
- 8 オーストリア・アルプスにおけるスキーリゾートの発展特性
スキーリゾートの分布 冬季宿泊の全体的動向
主要スキーリゾートの発展特性
大規模スキーリゾートの継続的発展の諸要因
オーストリア・アルプスにおける大規模スキーリゾートの諸課題
- 9 ゼルデンにおけるスキーリゾートの発展プロセス
ゼルデンの概要 観光開始期 冬季観光導入期
冬季観光成長期 第一次発展期 第二次発展期
リゾート景観の変化

IV 結論

日本とオーストリアにおけるスキーリゾートの発展プロセス
スキーリゾートの要素 スキー文化の差異 スキーリゾートの展望



新潟県苗場



オーストリア・オーバークルグル